

# 2019 年度 授業評価アンケート報告書

京都大学大学院 教育学研究科  
2020 年度 自己点検・評価委員会

## ■ 1. はじめに

2019年度の前期および後期に、教育学部・教育学研究科において実施された「授業評価アンケート」の報告をいたします。本学部・研究科の学部生・大学院生による授業評価は、2005年度から実施され、さまざまな検討と改訂を繰り返しながら、現在まで継続的に実施されています。以前は、前期・後期にそれぞれ200以上開講されている科目の中から、講義・演習・ゼミナール等の授業タイプ別にいくつかの科目をピックアップして評価対象としていましたが、2014年度からは、本学部・研究科が提供するすべての科目を評価の対象としています。

アンケートの内容は、開始当初のものと現在のものでは、大きく異なりますが、本学部・研究科における授業評価アンケート実施に関する基本的な考え方は変わっていません。第一に、授業評価一般がそうであるように、本授業評価は、授業の改善を目的としています。しかし、本学部・研究科の研究の対象が「教育」であることから、本学部・研究科の学部生・大学院生による授業評価には、もう1つ別の期待が加わることになります。それは、学部生・大学院生が、評価とは何か、その対象となる教育や授業とは何かを自ら考え、反省し、その過程の中で評価の力を涵養すること、そして、そうして培われた評価の力をもってなされた評価によって、教員が自らの教育について理論と実践のあり方を「再形成」していくという期待です。このことは、2005年度の授業評価報告書に記されています。

2019年度の授業評価アンケートは、基本的に、2018年度のを踏襲しています。したがって、前回同様、「シラバスの活用」と「学習時間」に重点を置いています。上記の趣旨をふまえ、「学習の達成度」に関する自己評価を求めています。

## ■ 2. 授業評価アンケートの内容と実施方法

### § 2.1 「授業評価アンケート」の構造

「授業評価アンケート」は大きく 4 つの部分に分かれている。最後に、「授業の感想」を自由記述で求めているが、この部分は担当教員に個別にフィードバックを行い、ここでは報告しない。

#### 1. シラバスの活用状況について：

- (1) シラバスを活用したどうか、活用した場合には、どのような用途だったのか選択肢によって回答。
- (2) シラバスの情報は十分なものだったか、十分でなかった場合には、どのような理由だったのか選択肢によって回答。

#### 2. 学習時間について

- (1) 当該科目の出席回数を選択肢によって回答。
- (2) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った時間を 1 週間当たりの平均で選択肢によって回答。

#### 3. 学習の達成度について

- (1) 当該科目の到達目標に照らして達成できたかどうか、自己評価を選択肢によって回答。
- (2) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合、達成できなかった理由を、選択肢により回答。
- (3) 効果的だった学習活動についての自由記述

#### 4. 授業の内容・満足度について

- (1) 授業の内容・満足度について選択肢によって回答。
- (2) 当該科目の全体として満足度を選択肢によって回答。

### § 2.2 実施した授業科目

教育学部・教育学研究科が提供するすべての科目（科目数は以下の通り）

学部：前期 108、後期 137

大学院：前期 91、後期 106

### § 2.3 実施した対象者

授業に出席した学生・大学院生・科目等履修生（履修者数および回答者数は次の通り）

## 履修者数

学部：前期 2010、後期 2417

大学院：前期 560、後期 633

## 回答者数

学部：前期 348、後期 457

大学院：前期 101、後期 114

## § 2.4 実施した日程

前期：2019年7月8日（火）～9月27日（金）

後期：2020年1月7日（火）～2月25日（火）

## § 2.5 具体的な実施手順

1. 授業アンケートシステム・KULIQS による回答を求めた。
2. 原則として、最終授業日または試験時に教室等で実施した（諸事情により教室等で実施できなかった場合、授業連絡メールで回答を促した）。
3. 「個人が特定されないこと」、「成績評価に影響しないこと」を伝えた後、以下の教示文を参考に実施した。

### 《教示文》

「これから授業評価アンケートを実施します。スマートフォン、ノート又はタブレット型パソコンを持っている方は、準備してください。持っていない方は、授業後できるだけすぐに、サテライトや自宅のパソコンからアンケートに答えてください。」

「このアンケートは、授業について受講者の皆さんからの意見を聴き、授業・教育環境の改善に役立てようとするためのものです。このアンケートは無記名方式であり、“誰がどのように答えた”などは特定されません。また、回答内容があなたの成績などの評価に影響することは一切ありませんので、率直なご意見をお願いします。」

「アンケートシステムには KULASIS トップページのアンケートボタンよりログインし、この授業の科目名を選択してください。なお、この科目の科目名は“\*\*\*\*\*”担当教員名は“\*\*\*\*\*”ですので、間違えずに選択してください。」

「また、このアンケートにはシラバスに関する事項がありますので、適宜 KULASIS でこの科目のシラバスを確認してください。」

### ■ 3. 授業評価アンケートの結果

#### § 3.1 設問の内容

実際の設問番号とその内容は以下の通り。

(Q.01～Q.04) 所属学部（研究科）、学年

(Q.05) シラバスを活用(使用)しましたか。

A: はい

B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」

(Q.06) Q.05 で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)

A: 科目選択・履修登録に活用

B: 予習・復習に活用

C: 受講にあたり授業中などに活用

D: 試験・レポートに活用

E: その他

(Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に係わらず回答してください。)

A: はい

B: いいえ

(Q.08) Q.07 で「いいえ」と答えた方は、理由を以下より選択してください。(複数選択可)

A: 「授業の概要・目的」の情報が不十分

B: 「到達目標」の情報が不十分

C: 「授業計画と内容」の情報が不十分

D: 「履修要件」の情報が不十分

E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報が不十分

F: 「教科書」及び「参考書等」の情報が不十分

G: 「その他」の情報が不十分

(Q.09) シラバスに記載してほしかった情報等があれば自由に記述してください。

(Q.10) 当該科目の授業出席回数を記載してください。

- A: 13 回以上
- B: 10 回以上 13 回未満
- C: 7 回以上 10 回未満
- D: 4 回以上 7 回未満
- E: 4 回未満

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間(学期を通じた 1 週間当たりの平均値)を記載してください。

- A: 3 時間以上
- B: 2 時間以上 3 時間未満
- C: 1 時間以上 2 時間未満
- D: 0.5 時間以上 1 時間未満
- E: 0.5 時間未満

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より 1 つ選択してください。

- A: 十分達成(目安:概ね 9 割以上達成)
- B: ほぼ達成(目安:概ね 8 割以上~9 割未満達成)
- C: やや達成できなかった(目安:概ね 6 割以上~8 割未満達成)
- D: 達成できなかった(目安:概ね 6 割未満達成)
- E: どちらともいえない(判断できない)

(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため
- C: 説明がわかりにくかったため
- D: 特になし
- E: その他

(Q.14) 効果的だった学習活動(例:講義、予習・復習又はグループ討論など)があれば、自由に記載してください。

(Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)

- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた
- B: 授業に対する教員の熱意が感じられた
- C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた
- D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた
- E: 教員の声はよく聞き取れた
- F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった
- G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった
- H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた
- I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった
- J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した
- K: その他

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: 十分満足
- B: ほぼ満足
- C: どちらともいえない(判断できない)
- D: やや不満
- E: 不満

(Q.17) この授業を振り返って、とくに勉強になった・参考になったという点や自分自身の今後の課題などがあれば書いてください。

(Q.18) 授業の内容・方法などについて改善してほしい点、その他、授業環境や教室設備などについて要望があれば書いてください。

### § 3.2 結果の構造

以下では、授業評価アンケートの結果を、設問ごとに報告する。なお、Q.09、Q.14、Q.17、Q.18は自由記述のため、担当教員にのみフィードバックを行い、ここには記載していない。

集計は、比較しやすいように、開講期別に、学部の授業と大学院の授業を分けて行った。

### § 3.3 データの集計結果

#### Q05 Q06

学部

前期

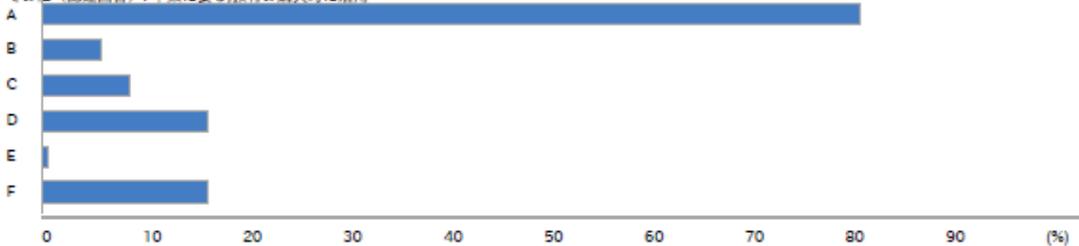
(Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。  
 A: はい (294票/84.5%)  
 B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (54票/15.5%)  
 C: 無回答 (0票/0%)



(Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。（複数選択可）

A: 科目選択・履修登録に活用 (272票/78.2%)  
 B: 予習・復習に活用 (20票/5.7%)  
 C: 受講にあたり授業中などに活用 (29票/8.3%)  
 D: 試験・レポートに活用 (55票/15.8%)  
 E: その他 (2票/0.6%)  
 F: 無回答 (55票/15.8%)

その他（記述回答）：卒業に要る教材の購入時に活用



後期

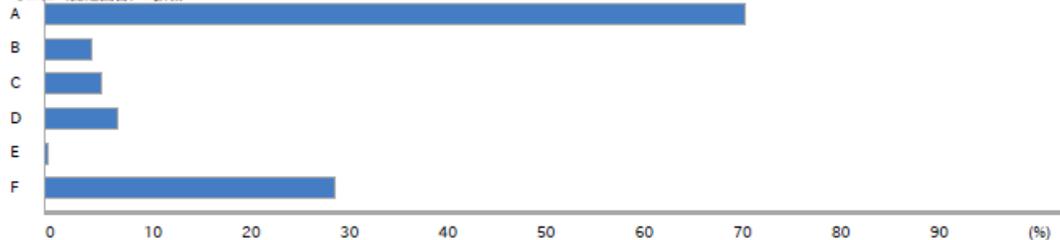
(Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。  
 A: はい (328票/71.8%)  
 B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (125票/27.4%)  
 C: 無回答 (4票/0.9%)



(Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。（複数選択可）

A: 科目選択・履修登録に活用 (312票/68.3%)  
 B: 予習・復習に活用 (21票/4.6%)  
 C: 受講にあたり授業中などに活用 (25票/5.5%)  
 D: 試験・レポートに活用 (32票/7%)  
 E: その他 (1票/0.2%)  
 F: 無回答 (129票/28.2%)

その他（記述回答）：教職



## Q05 Q06

### 大学院

#### 前期

(Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。

A: はい (58票/57.4%)

B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (43票/42.6%)

C: 無回答 (0票/0%)



(Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。（複数選択可）

A: 科目選択・履修登録に活用 (55票/54.5%)

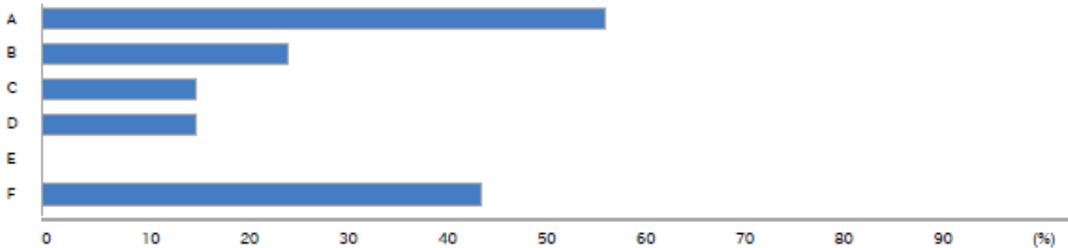
B: 予習・復習に活用 (24票/23.8%)

C: 受講にあたり授業中などに活用 (15票/14.9%)

D: 試験・レポートに活用 (15票/14.9%)

E: その他 (0票/0%)

F: 無回答 (43票/42.6%)



#### 後期

(Q.05) シラバスを活用（使用）しましたか。

A: はい (73票/64%)

B: 「いいえ」又は「どちらともいえない」 (41票/36%)

C: 無回答 (0票/0%)



(Q.06) Q.05で「はい」と答えた方は、理由を以下より選択してください。（複数選択可）

A: 科目選択・履修登録に活用 (67票/58.8%)

B: 予習・復習に活用 (5票/4.4%)

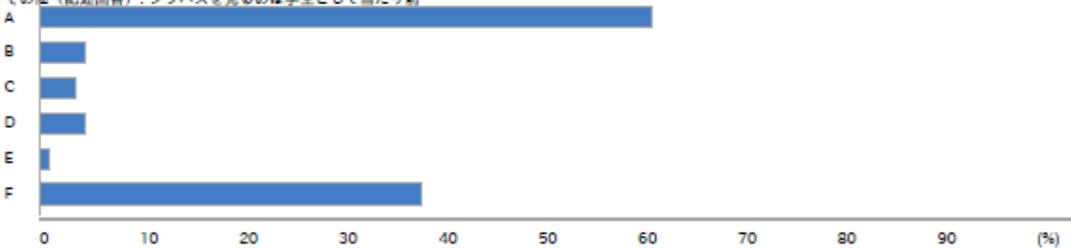
C: 受講にあたり授業中などに活用 (4票/3.5%)

D: 試験・レポートに活用 (5票/4.4%)

E: その他 (1票/0.9%)

F: 無回答 (42票/36.8%)

その他（記述回答）：シラバスを見るのは学生として当たり前



# Q07 Q08

## 学部

### 前期

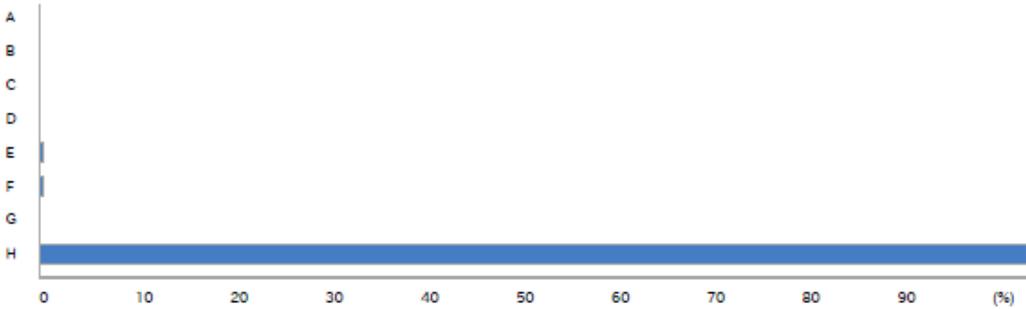
(Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に係わらず回答してください。)

- A: はい (338票/97.1%)
- B: いいえ (2票/0.6%)
- C: 無回答 (8票/2.3%)



(Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)

- A: 「授業の概要・目的」の情報 (0票/0%)
- B: 「到達目標」の情報 (0票/0%)
- C: 「授業計画と内容」の情報 (0票/0%)
- D: 「履修要件」の情報 (0票/0%)
- E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (1票/0.3%)
- F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (1票/0.3%)
- G: 「その他」の情報 (0票/0%)
- H: 無回答 (346票/99.4%)



### 後期

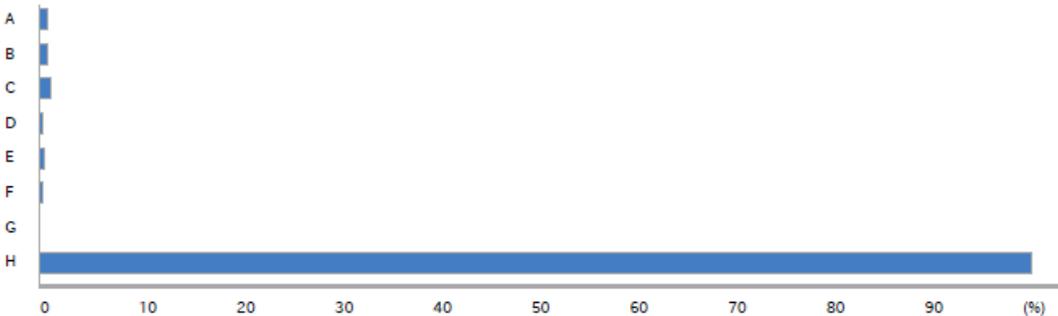
(Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に係わらず回答してください。)

- A: はい (434票/95.8%)
- B: いいえ (11票/2.4%)
- C: 無回答 (8票/1.8%)



(Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)

- A: 「授業の概要・目的」の情報 (3票/0.7%)
- B: 「到達目標」の情報 (3票/0.7%)
- C: 「授業計画と内容」の情報 (5票/1.1%)
- D: 「履修要件」の情報 (1票/0.2%)
- E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (2票/0.4%)
- F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (1票/0.2%)
- G: 「その他」の情報 (0票/0%)
- H: 無回答 (442票/96.7%)



## Q07 Q08

### 大学院

#### 前期

(Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に係わらず回答してください。)

A: はい (97票/96%)

B: いいえ (4票/4%)

C: 無回答 (0票/0%)



(Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)

A: 「授業の概要・目的」の情報 (3票/3%)

B: 「到達目標」の情報 (2票/2%)

C: 「授業計画と内容」の情報 (2票/2%)

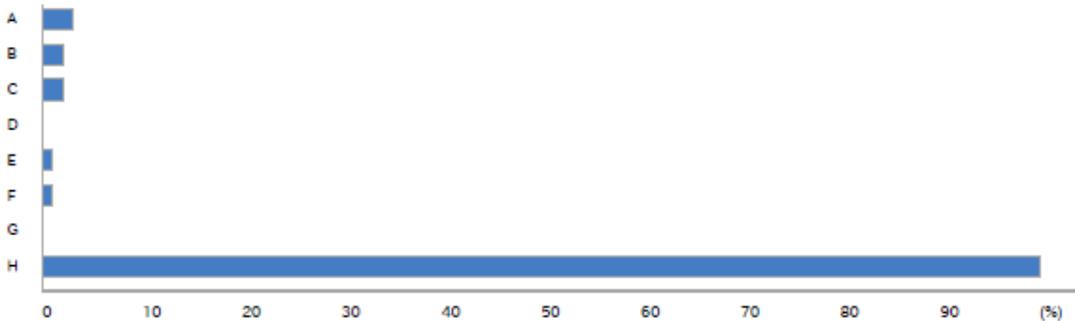
D: 「履修要件」の情報 (0票/0%)

E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (1票/1%)

F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (1票/1%)

G: 「その他」の情報 (0票/0%)

H: 無回答 (97票/96%)



#### 後期

(Q.07) シラバスの情報は十分なものでしたか。(シラバス活用の有無等に係わらず回答してください。)

A: はい (110票/96.5%)

B: いいえ (2票/1.8%)

C: 無回答 (2票/1.8%)



(Q.08) Q.07で「いいえ」と答えた方は、何が不十分と思ったかを選択してください。(複数選択可)

A: 「授業の概要・目的」の情報 (0票/0%)

B: 「到達目標」の情報 (0票/0%)

C: 「授業計画と内容」の情報 (1票/0.9%)

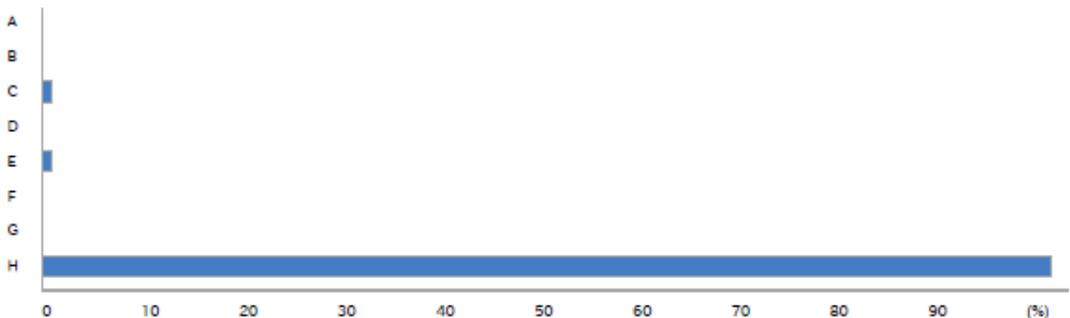
D: 「履修要件」の情報 (0票/0%)

E: 「成績評価の方法・観点及び達成度」の情報 (1票/0.9%)

F: 「教科書」及び「参考書等」の情報 (0票/0%)

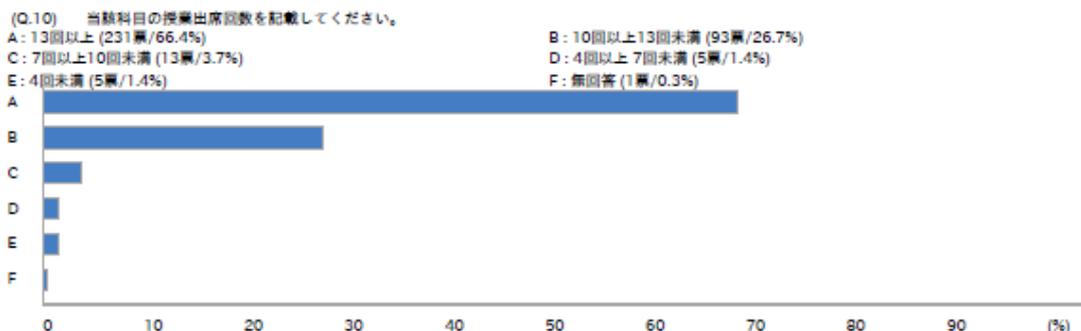
G: 「その他」の情報 (0票/0%)

H: 無回答 (112票/98.2%)

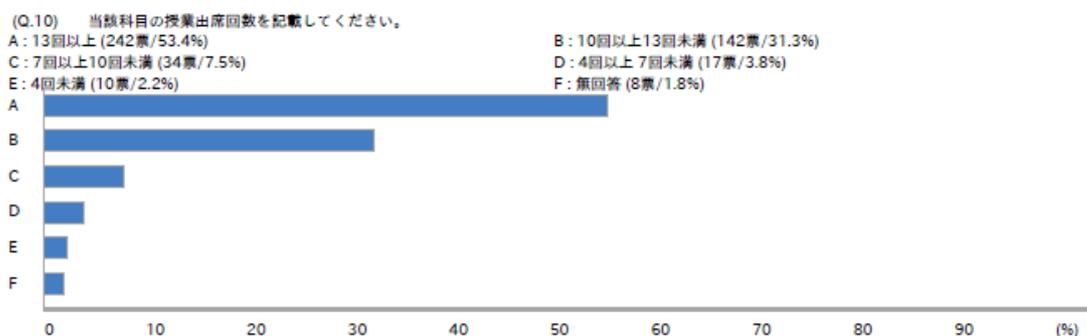


## Q10 当該科目の出席回数

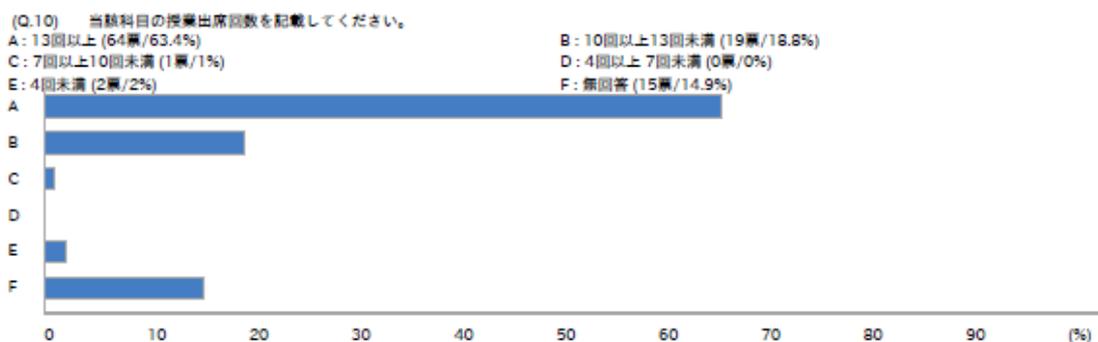
### 学部 前期



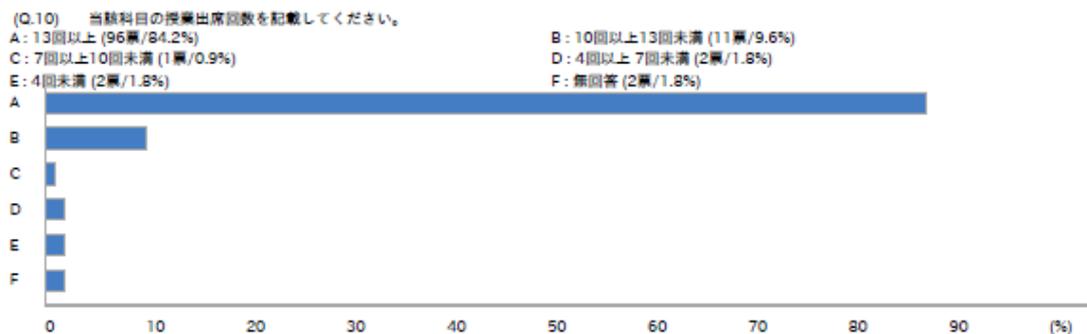
### 学部 後期



### 大学院 前期



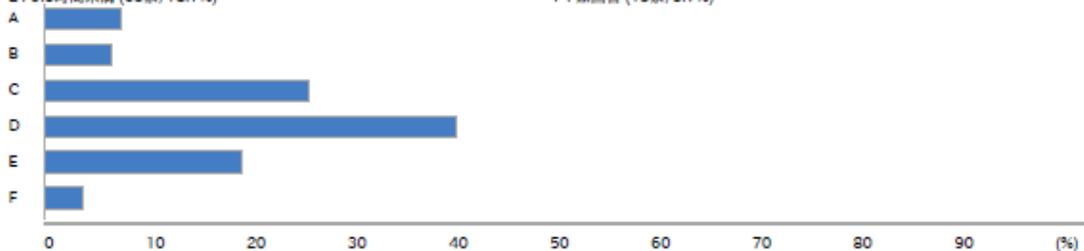
### 大学院 後期



## Q11 当該科目の学習時間

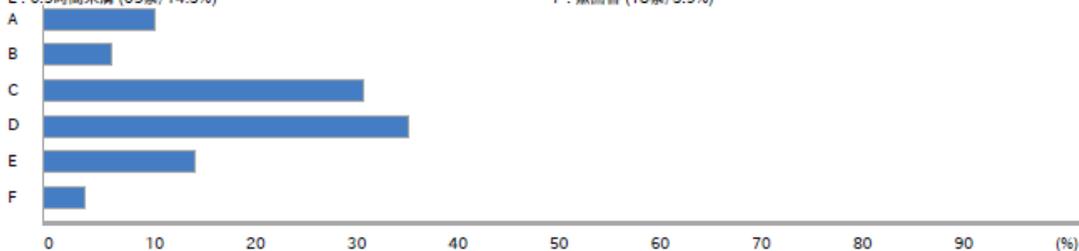
### 学部 前期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間(学期を通じた1週間当たりの平均値)を記載してください。  
 A: 3時間以上 (25票/7.2%) B: 2時間以上3時間未満 (22票/6.3%)  
 C: 1時間以上2時間未満 (87票/25%) D: 0.5時間以上1時間未満 (136票/39.1%)  
 E: 0.5時間未満 (65票/18.7%) F: 無回答 (13票/3.7%)



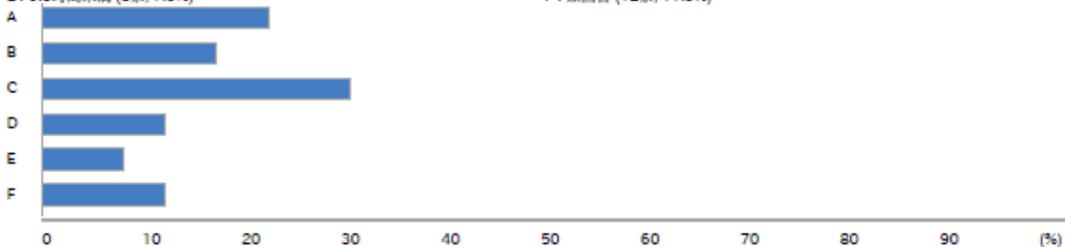
### 学部 後期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間(学期を通じた1週間当たりの平均値)を記載してください。  
 A: 3時間以上 (48票/10.5%) B: 2時間以上3時間未満 (29票/6.4%)  
 C: 1時間以上2時間未満 (138票/30.3%) D: 0.5時間以上1時間未満 (158票/34.6%)  
 E: 0.5時間未満 (65票/14.3%) F: 無回答 (18票/3.9%)



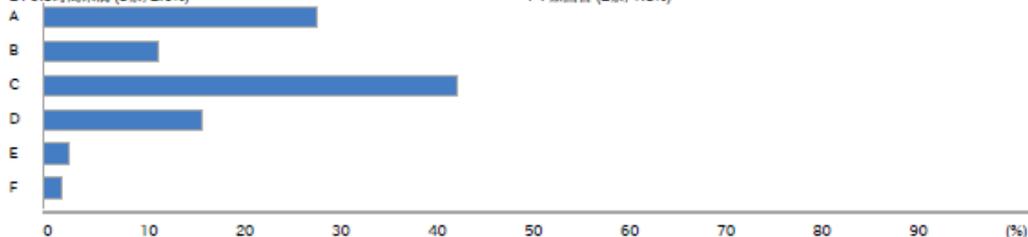
### 大学院 前期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間(学期を通じた1週間当たりの平均値)を記載してください。  
 A: 3時間以上 (22票/21.8%) B: 2時間以上3時間未満 (17票/16.8%)  
 C: 1時間以上2時間未満 (30票/29.7%) D: 0.5時間以上1時間未満 (12票/11.9%)  
 E: 0.5時間未満 (8票/7.9%) F: 無回答 (12票/11.9%)



### 大学院 後期

(Q.11) 当該科目に係る予習・復習・宿題・課題等を行った合計の時間(学期を通じた1週間当たりの平均値)を記載してください。  
 A: 3時間以上 (31票/27.2%) B: 2時間以上3時間未満 (13票/11.4%)  
 C: 1時間以上2時間未満 (47票/41.2%) D: 0.5時間以上1時間未満 (18票/15.8%)  
 E: 0.5時間未満 (3票/2.6%) F: 無回答 (2票/1.8%)



Q12 Q13 学部

前期

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

(教育学部シラバス) <https://www.kyoto-u.ac.jp/student/u/ed/syllabus/top>

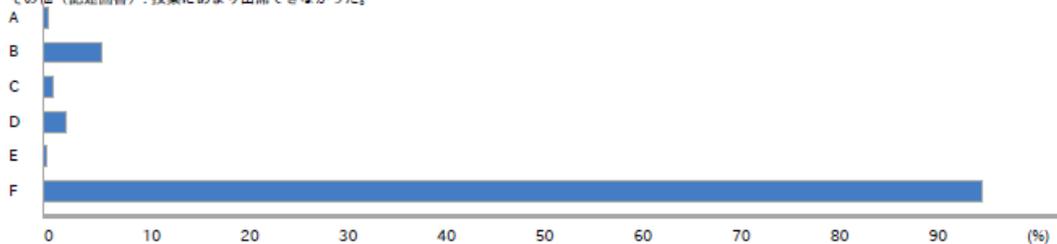
- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (145票/31.8%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上~9割未満達成) (249票/54.6%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上~8割未満達成) (36票/7.9%)
- D: 達成できなかった (目安: 概ね6割未満達成) (3票/0.7%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (16票/3.5%)
- F: 無回答 (7票/1.5%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (2票/0.4%)
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (26票/5.7%)
- C: 説明がわかりにくかったため (4票/0.9%)
- D: 特になし (10票/2.2%)
- E: その他 (1票/0.2%)
- F: 無回答 (418票/91.5%)

その他 (記述回答): 授業にあまり出席できなかった。



後期

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

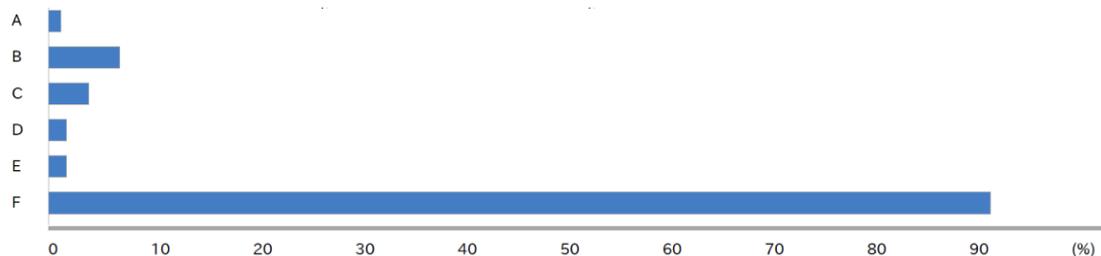
(教育学部シラバス) <https://www.kyoto-u.ac.jp/student/u/ed/syllabus/top>

- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (106票/25.4%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上~9割未満達成) (251票/60%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上~8割未満達成) (38票/9.1%)
- D: 達成できなかった (目安: 概ね6割未満達成) (11票/2.6%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (6票/1.4%)
- F: 無回答 (6票/1.4%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (5票/1.2%)
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (28票/6.7%)
- C: 説明がわかりにくかったため (16票/3.8%)
- D: 特になし (7票/1.7%)
- E: その他 (7票/1.7%)
- F: 無回答 (370票/88.3%)



Q12 Q13 大学院

前期

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。  
 (教育学研究科シラバス) <http://www.k.kyoto-u.ac.jp/student/g/ed/syllabus/top>

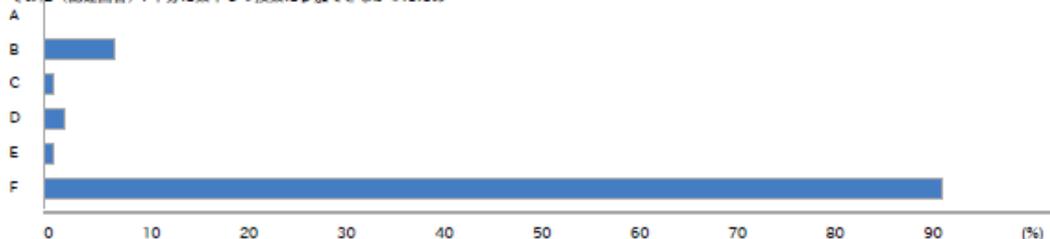
- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (29票/28.7%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上～9割未満達成) (56票/55.4%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上～8割未満達成) (12票/11.9%)
- D: 達成できなかった目安: (概ね6割未満達成) (0票/0%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (4票/4%)
- F: 無回答 (0票/0%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (0票/0%)
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (7票/6.9%)
- C: 説明がわかりにくかったため (1票/1%)
- D: 特になし☐ (2票/2%)
- E: その他 (1票/1%)
- F: 無回答 (89票/88.1%)

その他 (記述回答): 十分に集中して授業に参加できなかったため



後期

(Q.12) この授業の到達目標に照らして達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。  
 (教育学研究科シラバス) <http://www.k.kyoto-u.ac.jp/student/g/ed/syllabus/top>

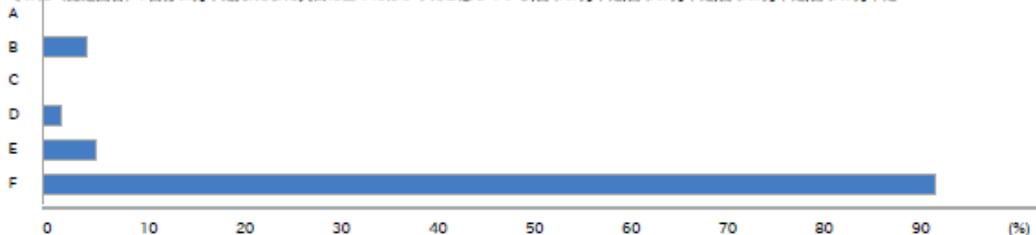
- A: 十分達成 (目安: 概ね9割以上達成) (31票/27.2%)
- B: ほぼ達成 (目安: 概ね8割以上～9割未満達成) (69票/60.5%)
- C: やや達成できなかった (目安: 概ね6割以上～8割未満達成) (13票/11.4%)
- D: 達成できなかった目安: (概ね6割未満達成) (0票/0%)
- E: どちらともいえない(判断できない) (0票/0%)
- F: 無回答 (1票/0.9%)



(Q.13) 学習の達成度が「達成できなかった」又は「やや達成できなかった」の場合は、達成できなかった理由を、以下より選択してください。(複数選択可)

- A: 授業の進度が速かったため (0票/0%)
- B: 予習・復習に十分時間を取ることができなかったため (5票/4.4%)
- C: 説明がわかりにくかったため (0票/0%)
- D: 特になし☐ (2票/1.8%)
- E: その他 (6票/5.3%)
- F: 無回答 (101票/88.6%)

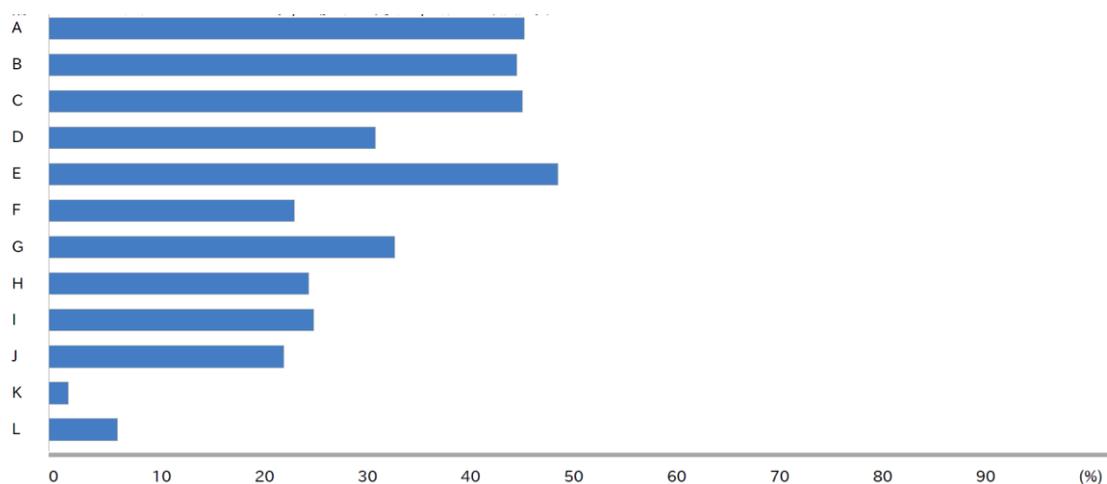
その他 (記述回答): 自分の力不足,まだまだ入口に立ったばかりだと感じている,自らの力不足,自らの力不足,自らの力不足,自らの力不足



## Q15 学部

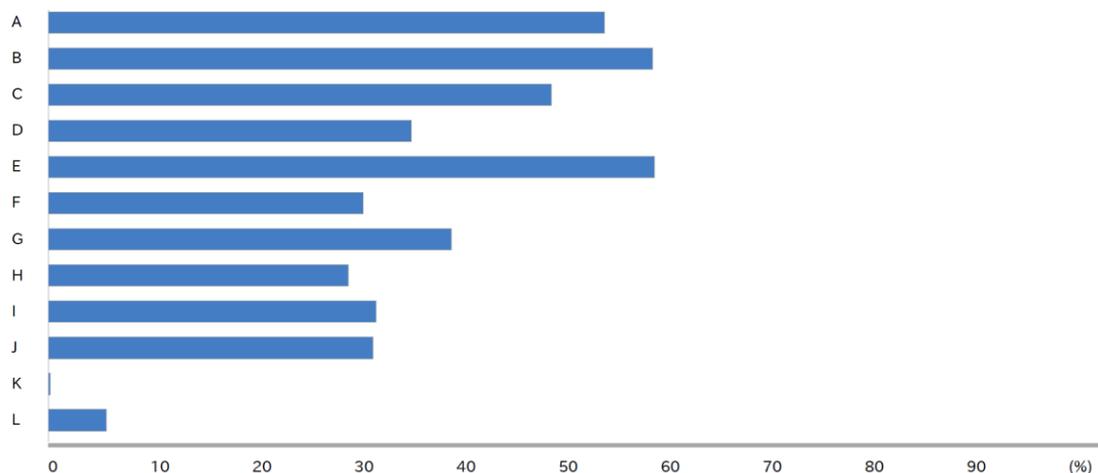
### 前期

- (Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)
- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (172票/44.3%)
  - B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (169票/43.6%)
  - C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (171票/44.1%)
  - D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (118票/30.4%)
  - E: 教員の声はよく聞き取れた (184票/47.4%)
  - F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (89票/22.9%)
  - G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった (125票/32.2%)
  - H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (94票/24.2%)
  - I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (96票/24.7%)
  - J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (85票/21.9%)
  - K: その他 (7票/1.8%)
  - L: 無回答 (25票/6.4%)



### 後期

- (Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)
- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (219票/52.3%)
  - B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (238票/56.8%)
  - C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (198票/47.3%)
  - D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (143票/34.1%)
  - E: 教員の声はよく聞き取れた (239票/57%)
  - F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (124票/29.6%)
  - G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった (159票/37.9%)
  - H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (118票/28.2%)
  - I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (129票/30.8%)
  - J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (128票/30.5%)
  - K: その他 (1票/0.2%)
  - L: 無回答 (23票/5.5%)

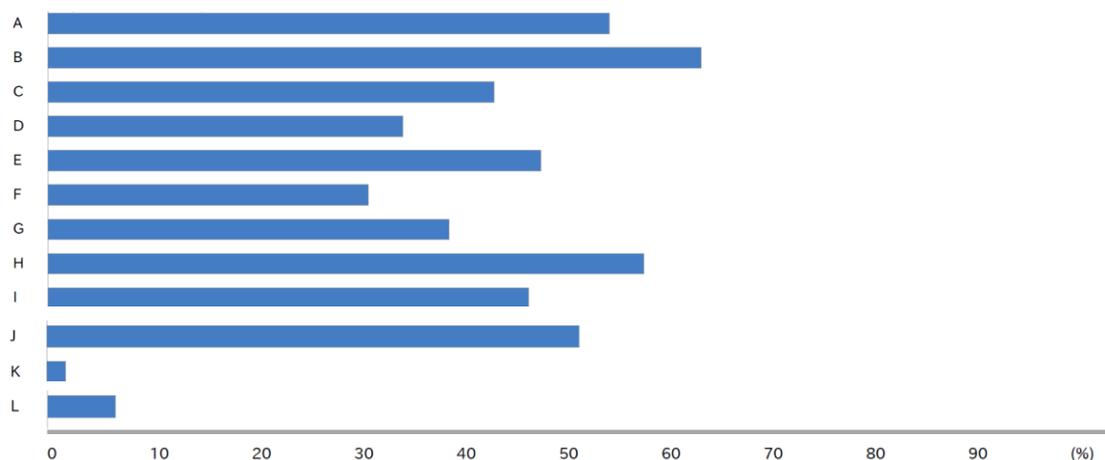


## Q15 大学院

### 前期

(Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)

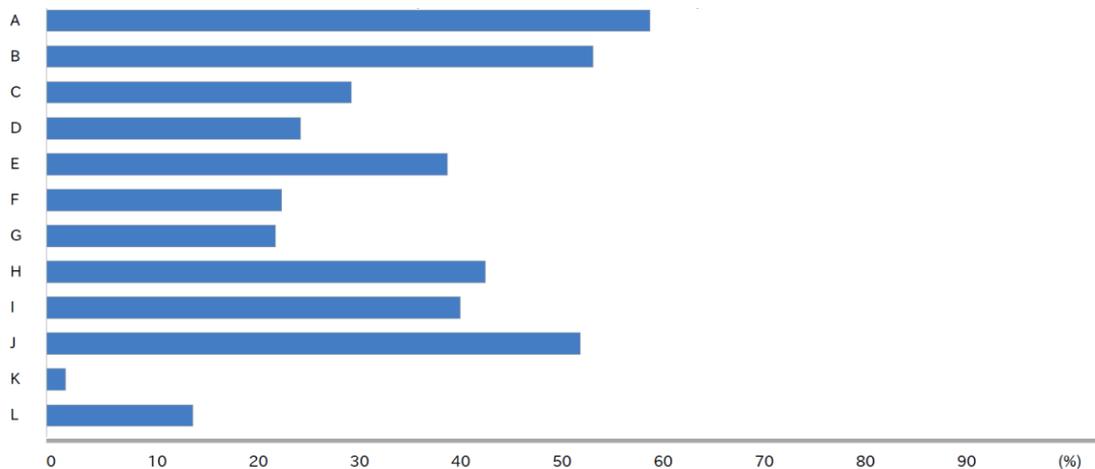
- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (49票/55.7%)
- B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (57票/64.8%)
- C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (39票/44.3%)
- D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (31票/35.2%)
- E: 教員の声はよく聞き取れた (43票/48.9%)
- F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (28票/31.8%)
- G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった (35票/39.8%)
- H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (52票/59.1%)
- I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (42票/47.7%)
- J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (51票/58%)
- K: その他 (1票/1.1%)
- L: 無回答 (6票/6.8%)



### 後期

(Q.15) この授業でよかった点を選択してください。(複数選択可)

- A: 授業に意欲的に参加できる工夫がされていた (95票/57.2%)
- B: 授業に対する教員の熱意が感じられた (86票/51.8%)
- C: 授業は体系的であり、よくまとまっていた (48票/28.9%)
- D: 授業はシラバスに沿って授業が行われていた (40票/24.1%)
- E: 教員の声はよく聞き取れた (63票/38%)
- F: 板書の文字や機器による提示が見やすかった (37票/22.3%)
- G: 教材(教科書・配付資料等)は適切だった (36票/21.7%)
- H: 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められていた (69票/41.6%)
- I: 自主的な学習を促すための工夫や補足説明があった (65票/39.2%)
- J: この授業を通じて、知的な問題に取り組む力が向上した (84票/50.6%)
- K: その他 (3票/1.8%)
- L: 無回答 (23票/13.9%)



## Q16

### 学部 前期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: 十分満足 (145票/37.4%)
- B: ほぼ満足 (173票/44.6%)
- C: どちらともいえない(判断できない) (44票/11.3%)
- D: やや不満 (8票/2.1%)
- E: 不満 (11票/2.8%)
- F: 無回答 (7票/1.8%)



### 学部 後期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: 十分満足 (226票/53.9%)
- B: ほぼ満足 (129票/30.8%)
- C: どちらともいえない(判断できない) (25票/6%)
- D: やや不満 (18票/4.3%)
- E: 不満 (14票/3.3%)
- F: 無回答 (7票/1.7%)



### 大学院 前期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: 十分満足 (37票/42%)
- B: ほぼ満足 (35票/39.8%)
- C: どちらともいえない(判断できない) (10票/11.4%)
- D: やや不満 (4票/4.5%)
- E: 不満 (1票/1.1%)
- F: 無回答 (1票/1.1%)



### 大学院 後期

(Q.16) この授業は全体として満足できる内容でしたか。

- A: 十分満足 (90票/54.2%)
- B: ほぼ満足 (50票/30.1%)
- C: どちらともいえない(判断できない) (10票/6%)
- D: やや不満 (3票/1.8%)
- E: 不満 (1票/0.6%)
- F: 無回答 (12票/7.2%)



#### ■ 4. おわりに

本報告は、教育学部・教育学研究科において 2019 年度に開講された全科目を対象にした授業評価アンケート結果です。授業アンケートシステム・KULIQS（クリックス）を用いて実施された 5 回目の調査であり、調査項目の提示方法や回答方法など、前年度までの形を踏襲しています。教務掛、総務掛の事務の方々には、調査の作成から実施、集計にいたるまで、様々な局面でご支援をいただきました。ここに改めて心からの御礼を申し上げます。

今回の結果におきましても、従来と同様の傾向が確認され、大きな変化は見られませんでした。1) 学部生の大部分（約 8 割）はシラバスを利用し、その情報にも満足しています。大学院生になると利用は減少しますが（約 6 割）、シラバスへの不満は見られません。2) 学部生・大学院生共に授業への出席率は高く、「13 回以上」出席と回答したのは、学部生（前期・66.4%、後期・53.4%）、大学院生（前期・63.4%、後期・84.2%）です。3) 達成度についても、前年度と同様の傾向がみられ、「十分達成」「ほぼ達成」と回答した割合は、学部・大学院ともに 9 割弱でした。4) 授業の満足度についても同様に、「十分満足」「ほぼ満足」と回答した割合が、学部・大学院とも 8～9 割であり、引き続き高い水準にあることが確認されました。学部・大学院共に、前期より後期の方が「十分満足」の割合が高く、また、大学院生の方が高い満足度を示す傾向にあります。大学院生は「授業の工夫」や「教員の熱意」を高く評価しております。しいて問題点を挙げるとすれば、学部（前期）において「板書の文字や機器による提示が見やすかった」に賛意を表した学生が約 2 割に留まっている点が指摘されます。5) 昨年度に指摘された「予習・復習などの学習時間」については、今年度も同様に、多くの学生が 1 時間未満でした。科目ごとの学修内容による差異も考慮しながら、その学習状況については、継続的なフォローが必要と思われます。

毎年のことながら、回答率の低さは課題です。一般にウェブ上で回答を求めると回答率は低くなることが知られていますが、今後もウェブ調査の長所を活用しつつ、回答率を増やす工夫が必要です。学部生・大学院生・教員すべてが、教育・授業・評価について問い直し、考えを深めていく機会となるよう、授業評価アンケートを実施していきたいと考えております。

2020 年度 教育学研究科自己点検・評価委員会  
西平 直・野村理朗・岡邊 健